

## 2026 年度『国際文化学部紀要』投稿要領

令和 8 年 7 月 15 日国際文化  
学部教授会

1. 紀要の公開は令和 9 年 3 月とする。
2. 投稿原稿の締め切りは 令和 9 年 1 月 6 日（水）正午 12:00 とし、学部事務室（紀要編集委員（進藤））に、紙媒体（論文 1 部）と電子記録媒体及び著者の許諾書を提出すること（時間厳守）。
3. 原稿は完成原稿とし、著者校正は、原則として、初校のみとする。原稿提出・校正の遅れ、校正での大幅訂正は認めないものとする。
4. 投稿希望者は全員、令和 9 年 11 月 18 日（水）17:00 までに、論文・作品の本題目（日本語タイトルと英文タイトルの両方で）、著者名（共著の場合は執筆者名も）、原稿の種別、縦書・横書の別、段組、枚数等、研究倫理と利益相反に関する事前申告を紀要編集委員（倉田）まで所定の Google Form で提出すること。
5. 11 月 18 日に提出された日本語タイトルと英語タイトルで紀要編集委員（西田）が目次を作成する。英文タイトルは、この段階で紀要編集委員会がネイティブ・チェックを依頼する。これ以降は原則として、論文・作品のタイトルの訂正は不可とする。
6. 投稿有資格者は、本学専任教員、非常勤講師、名誉教授、その他、編集委員会が特に認めた者である。学外者（非常勤講師・名誉教授を含む）、大学院生および学部生との共著論文を投稿される場合には、原則として、本学専任教員が筆頭執筆者とし、筆頭執筆者が紀要編集委員会からの連絡者を兼ねる。
7. 著作者は、国際文化学部が、本紀要に掲載された著作物を複製し公開することについて許諾する。
8. 人・動物等を対象とする研究については、山口県立大学の生命倫理委員会および動物実験委員会の審査を経て実施することとし、研究倫理と利益相反に関する条件をクリアしていることを論文中または文末で明記しなければならない。
9. 前項に該当しない研究であっても、本題目の提出時に、研究倫理と利益相反に関する問題がないことを事前申告しなくてはならない。ただし、紀要編集委員会が研究倫理と利益相反に触れる内容があると判断した場合は前項に該当するものとする。
10. 本紀要には各号の刊行時の学部長による巻頭言を目次の後に掲載するものとする。巻頭言は該当号全体に関わる内容とし、特に以下の三点に言及する。

### 10 a. 研究倫理について

人および実験動物を対象とする研究は、研究倫理に関するガイドラインや法令を遵守して実施しています。研究内容から判断して著者が必要と認めたときは倫理的な配慮事項を本文中に記載しています。

### 10 b. 利益相反について

投稿された論文の研究の遂行や出版等の成果発表に影響を及ぼす可能性のある金的又は個人的な関係がある場合、利益相反（Conflict of Interest : COI）が存在します。研究内容から判断して著者が必要と認めたときは、COI 状態について論文の末尾、または文献の前に記載しています。

### 10 c.

10 a.および 10 b.に言及していない論文等は、第 4 項および第 5 項を通じ、本編集委員会が 10 a.および 10 b.に抵触しないと判断したものです。

## 投稿要領

1. 投稿は一人につき三編以内とする。単独論文・作品は一人につき二編までとする。原稿の分量が多い場合は、編集委員会まで相談のこと。

## 2. 原稿の書式

(1) 原稿は、紙媒体と電子記録媒体で提出すること（原稿の組版はA4型を想定）。

公表時に縦書き・横書き および段組み を投稿最終確認までに明記すること。

原稿には英文タイトルおよび英文サマリーを付ける。英文タイトルは原則として11月に提出したものと同一とする。専門領域上必要な場合は、英文以外の外国語で外国語タイトルやサマリーを付けることもできる。外国語論文には、日本語のサマリーを付ける。

特に図版・写真を挿入する場合は、必ずその位置を示すこと。ただし、ソフトなどの関係で困難な場合は編集委員に相談してください。

(2) 注及び引用文献は通し番号とする。番号は、横書き原稿の場合は片カッコ、縦書き原稿の場合は上下両カッコを付けて右傍らに小さく記入する。

(3) 引用文献は、原則として

・逐次刊行物の場合：著者名、論文名、誌名、巻数、発行年、ページの順に記載する。

・単行本の場合：著者名、書名、巻数、編者、発行所、発行年、ページの順に記載する。

(4) 表題及び著者名（専攻分野も明記）は原文及び英文の二通りを提出する。但し、原文が英文の場合はその限りではない。

(5) 英文サマリーは必ずネイティブ・チェックを経て提出する。

## 3. 投稿原稿の種別

原稿の種別は以下のとおりである。

(1) 「論文」

(2) 「特別寄稿論文」

(3) 「研究ノート」

(4) 「報告」

(5) 「作品」 カラー図版等を含む。

(6) 「資料」

(7) 「翻訳」

(8) 「翻刻」

(9) その他（学部所属関係者の刊行図書の書評及び近著紹介、学会・シンポジウムの報告等を含む。）

\*編集委員会でカテゴリーの変更を求める場合がある。